



笑顔いっぱい かがやく入谷っ子

避難訓練

1月20日(金)に、地震が起き、その後給食室から火災が発生するという想定のもと、避難訓練を行いました。

避難訓練は、子供たちの訓練と共に、教職員の訓練でもあります。地震発生という放送の中で、「DROP：低く・COVER：頭を守り・HOLD ON：動かない」の言葉を伝え、その時にいる場所で、とっさに身を守るという、シェイクアウト訓練を行いました。また、学年リーダーが職員室に集合し、被害状況や子供たちの状況について報告をし合い、情報共有を図りました。その後、地震による火災が発生するということを想定し、防火シャッターを下ろし、全員で校庭に避難しました。校庭に避難後は、各担任が子供たちの人数を確認し、本部に報告という流れをとりました。一連の流れ中で、子供たちは落ち着いて行動することができていました。

私から、平成7年1月17日午前5時46分に起きた阪神淡路大震災にて、大きな被害と共に、多くの方々が犠牲になったことに触れ、子供たちに次の話をしました。

- ・地震はいつ起こるか分からない。突然起こる地震に備え、避難訓練の学習をしていること。
- ・訓練で行っている行動には、一つ一つ大切な意味があること。
- ・頭を守ることやハンカチで口や鼻をおさえることの必要性。
- ・「お・は・し・も」の合言葉にある、おさない、はしらない、しゃべらない、もど

らないという、行動の必要性。

- ・校庭までの避難経路はいくつかあるが、出火した場所から遠い経路を使って避難することの大切さ。
- ・地震が起きたら怖いし、不安でいっぱいになることは、大人も同じであること。だからこそ、「自分の命を守るんだ。落ち着いて考えるんだ。」と自分自身に話しかけることを忘れないこと。

最後に、避難訓練の学習で学んだことを生かせるようにしてほしいこと、学んだことをお家の方にも話してほしいと伝えました。ぜひ、御家庭でも話題にして、子供たちから、話を聴いていただけたらと思います。そして、御家庭の中で、新たな視点も合わせてお話していただけたらありがたいです。

子供たちの様子

「休み時間に掃除をしていいですか」と質問してきた子供たちがいました。「何するの」と問い返すと、落ち葉の掃除をしたいとのこと。いろいろと話していく中で、子供たちは用務員さんの手伝いをするために行動していることが分かりました。すでに何度か掃除をしていたようで、ゴミの処理の仕方も知っていました。昼休み、枯れた草を一生懸命とっている姿を見て、自分たちで考えて、用務員さんの手伝いをしたいという思いを行動に繋げていることがすてきな瞬間をもちました。心を動かしながら行動している子供たち。すてきな瞬間をもちつけていきたいと思っています。